

平成23年度学校保健統計調査結果の概要

学校保健統計調査(基幹統計調査)は、文部科学省が、我が国における幼児・児童および生徒の発育状態および健康状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得るため、毎年実施しているものです。

滋賀県では、平成23年度は、県下全593校(園)から調査対象校として指定を受けた152校(園)に在籍する児童等が対象となりました。(表1)

その結果概要は次のとおりです。

なお、平成23年度調査は、岩手県、宮城県および福島県を除いた全国44都道府県で実施しています。

1 滋賀県の傾向 (図1～図3)

身長、体重および座高は、男女とも横ばいで推移しています。

2 全国との比較 (図4～図6)

身長、座高は、男女とも多くの年齢で、全国平均値と同じかまたは上回り、体重は、男女ともほとんどの年齢で、全国平均値を下回りました。

17歳女子の座高が全国第1位、7歳男子の身長と15歳女子の身長が全国第3位、7歳男子の座高と14歳女子の身長が全国第4位、16歳女子の身長と17歳女子の身長は全国第5位、13歳男子の体重と14歳女子の体重が全国最下位の第44位になりました。

3 「親の世代」との比較 (図7、図8)

身長、体重は、ほぼすべての年齢で「親の世代」である30年前(昭和56年度調査)の県平均値を上回っていますが、女子の体重の14歳から17歳などは親の世代を下回っています。

30年前と体格差が最も開く年齢は、男子では、身長が12歳で、体重が17歳で、女子は、身長が10歳で、体重が11歳です。

4 主な疾病・異常 (図9～図15、表2)

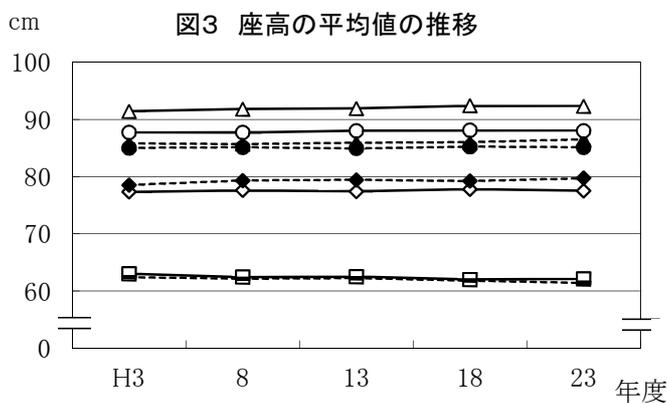
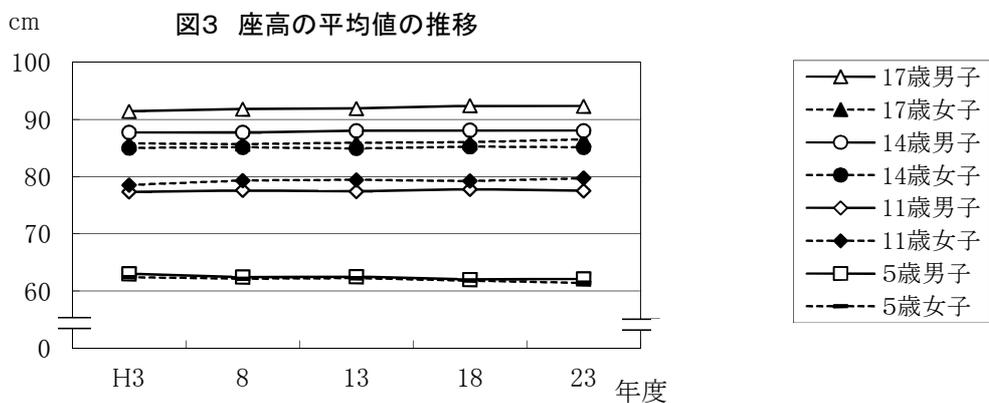
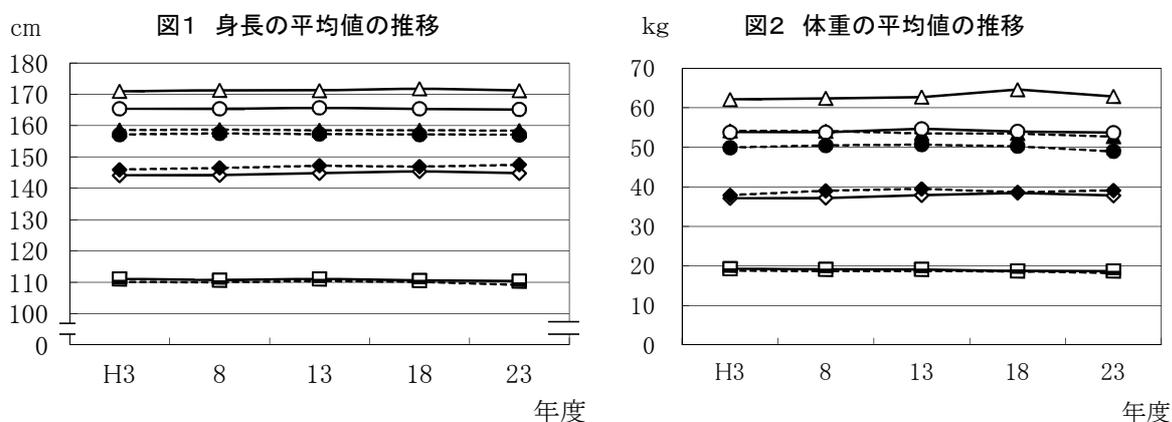
「鼻・副鼻腔疾患」、「蛋白検出の者」および「ぜん息」の人の割合は、全ての学校種別で全国平均値を下回っています。また、幼稚園および小学校における「裸眼視力1.0未満」の人の割合は、全国平均値を下回っています。

「むし歯(う歯)」の人の割合は、平成20年度から全ての学校種別で減少傾向にありましたが今年度は、幼稚園および小学校で増加に転じました。

I 発育状態

1. 体格の県平均値の推移（図1～図3）

体格の本県平均値の推移を見ると、身長、体重および座高は、男女とも横ばいで推移しています。

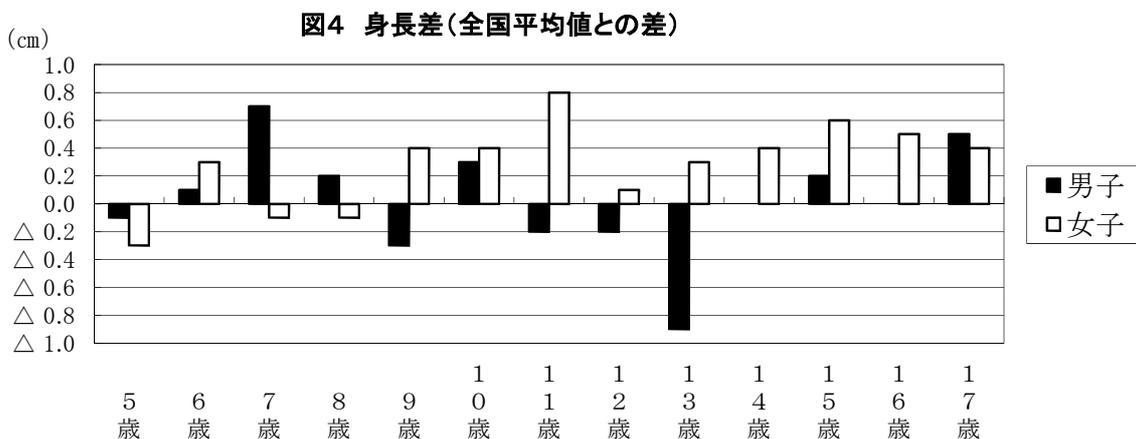


2. 体格の全国平均値との比較（図4～図6）

(1) 身長

男子の身長は5歳、9歳、11歳から13歳で全国平均値を下回っていますが、それ以外の各年齢では同じか上回っています。女子の身長は5歳、7歳、8歳で全国平均値を下回り、それ以外の各年齢では上回っています。

都道府県別にみると、7歳男子および15歳女子が全国第3位、14歳女子が全国第4位、16歳女子および17歳女子が全国第5位となっています。

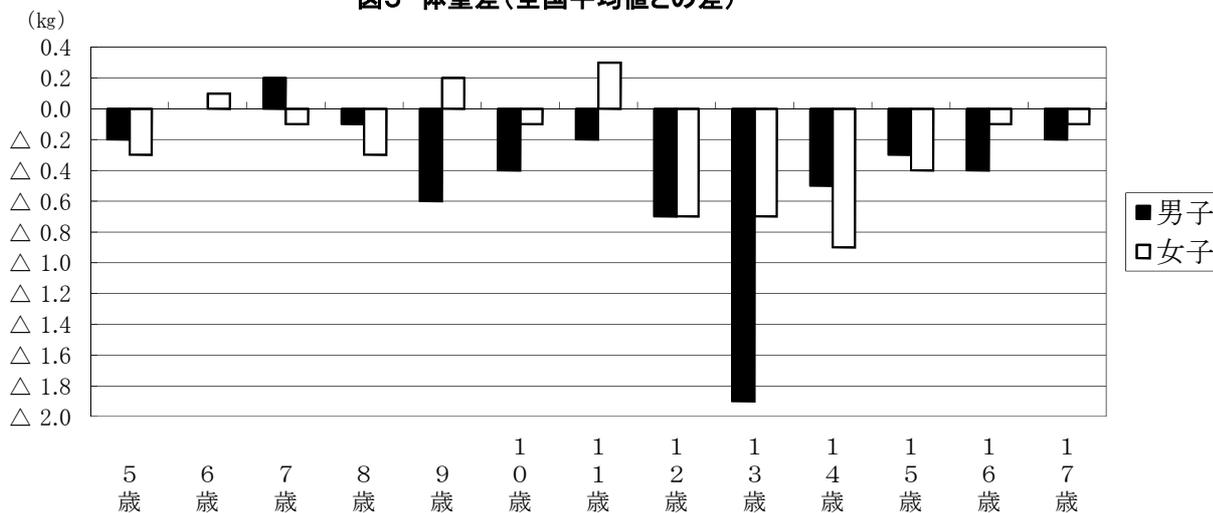


(2) 体 重

男子の体重は、7歳で全国平均値を上回っていますが、それ以外の年齢では、同じか下回っています。女子の体重は、6歳、9歳、11歳で全国平均値を上回っていますが、それ以外の年齢では、下回っています。

都道府県別にみると、13歳男子および14歳女子が全国第44位の最下位になっています。

図5 体重差(全国平均値との差)

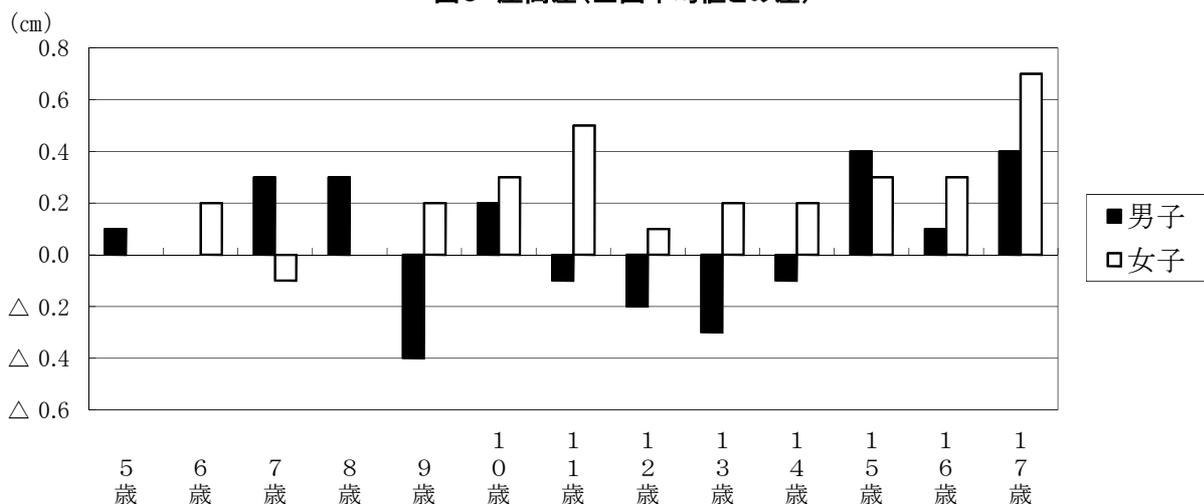


(3) 座 高

男子の座高は、9歳、11歳から14歳で全国平均値を下回っていますが、それ以外の各年齢では同じかまたは上回っています。女子の座高は、7歳で全国平均値を下回っていますが、それ以外の各年齢では、同じかまたは上回っています。

都道府県別にみると、17歳女子が全国第1位、7歳男子が全国第4位になっています。

図6 座高差(全国平均値との差)

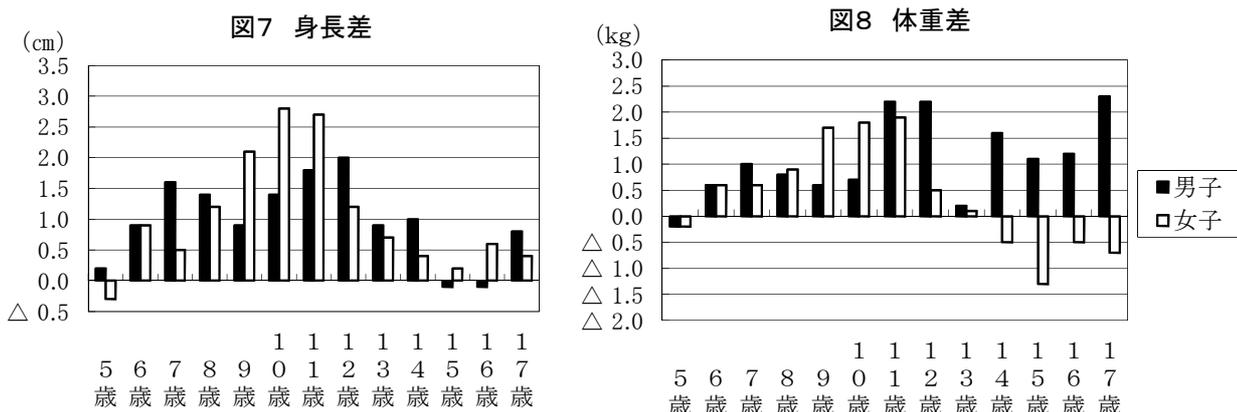


3. 30年前の昭和56年度（親の世代）の体格との比較（図7、図8）

平成23年度の調査結果を、30年前の昭和56年度（親の世代）の調査結果と比較してみると、ほとんどの年齢で平成23年度の結果が上回っていますが、女子の体重の14歳から17歳までなど一部の年齢では昭和56年度の結果が上回っています。

このうち、30年前の体格との差が最も大きい年齢をみると、男子については、身長が12歳で2.0cm、体重が17歳で2.3kgの差になっています。女子については、身長が10歳で2.8cm、体重が11歳で1.9kgの差になっています。

平成23年度と昭和56年度の年齢別体格差グラフ（昭和56年度を「0」としたときの増減）



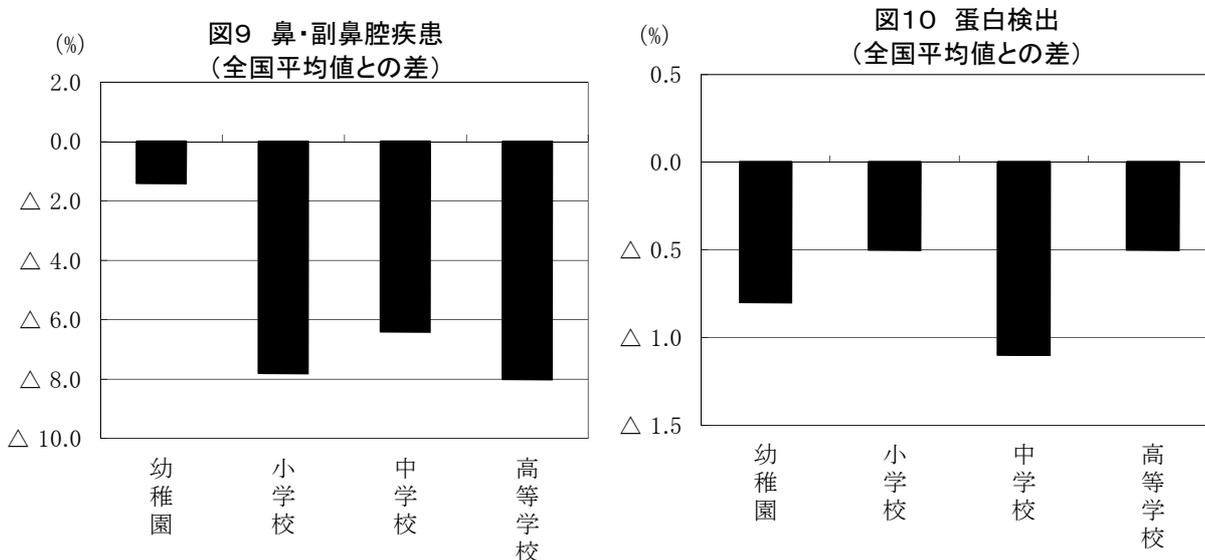
II 健康状態

1. 主な疾病・異常の被患率等（男女計）（図9～図15、表3）

「鼻・副鼻腔疾患」、「蛋白検出の者」および「ぜん息」の人の割合は、全ての学校種別で全国平均値を下回っています。また、幼稚園および小学校における「裸眼視力1.0未満」の人の割合は、全国平均値を下回っています。

「心電図異常」の人の割合は、すべての学校種別で全国平均値を上回っています。

「むし歯（う歯）」の人の割合は、前年度と比べると、中学校・高等学校では減少し、幼稚園・小学校では増加しています。平成20年度からすべての学校種別で減少傾向にありましたが今年度は、幼稚園・小学校で増加に転じました。



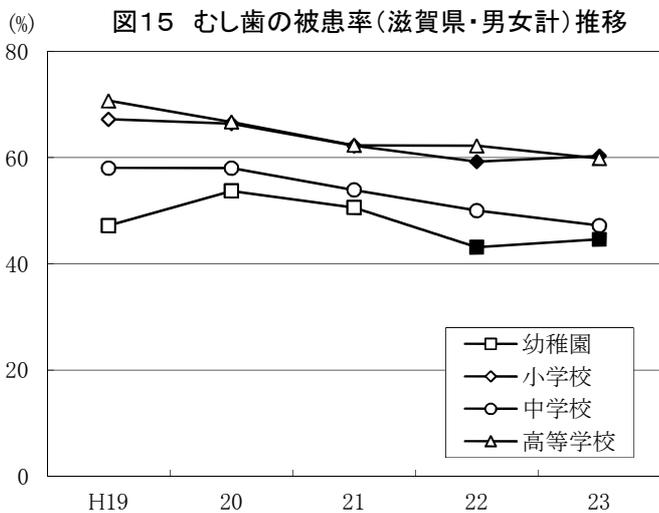
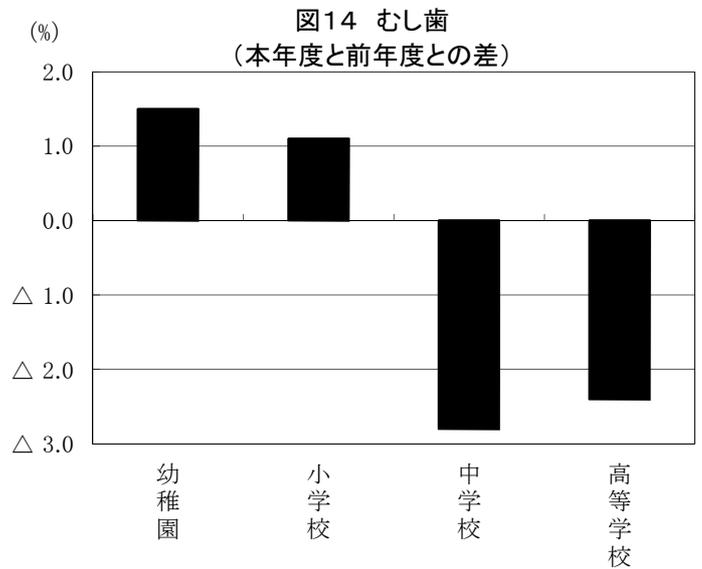
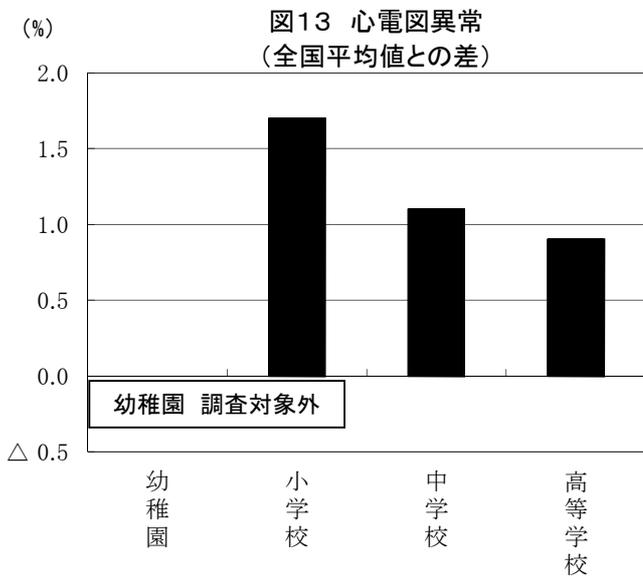
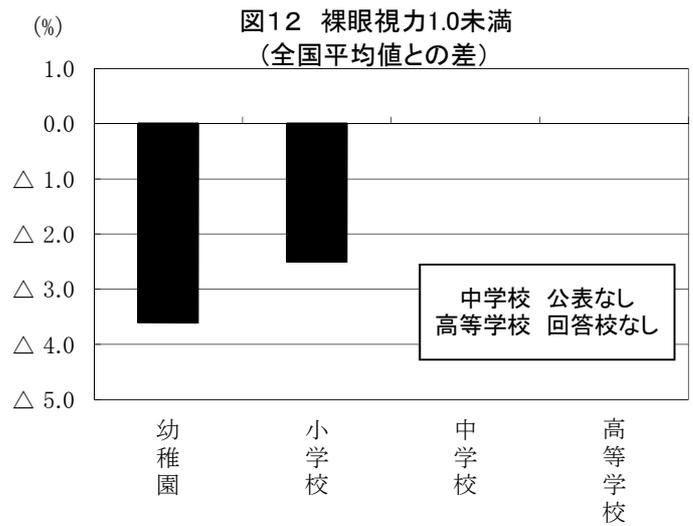
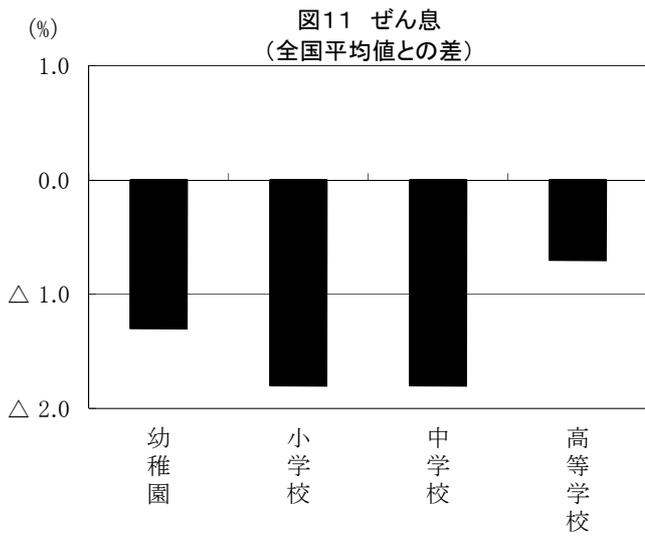


表 1 滋賀県の調査実施状況

学校種別	総数		実施調査 校(園)数	発育状態調査		健康状態調査	
	学校数 (校(園))	幼児、児童、 生徒数 (人) A		調査対象 者数(人) B	抽出率 (%) B/A	調査対象 者数(人) C	抽出率 (%) C/A
幼稚園	193	7,278	32	1,129	15.5%	1,578	21.7%
小学校	235	86,095	58	5,541	6.4%	33,074	38.4%
中学校	107	43,011	37	4,291	10.0%	19,037	44.3%
高等学校	58	38,606	25	2,179	5.6%	18,499	47.9%
合計	593	174,990	152	13,140	7.5%	72,188	41.3%

表 2 年齢別・男女別体格の平均値

学校種別	学年	年齢	男子			女子		
			身長 (cm)	体重 (kg)	座高 (cm)	身長 (cm)	体重 (kg)	座高 (cm)
幼稚園		5歳	110.4	18.7	62.1	109.2	18.2	61.4
小学校	1年生	6歳	116.7	21.3	64.9	115.9	20.9	64.6
	2年生	7歳	※123.3	※24.2	※68.0	121.5	23.3	67.1
	3年生	8歳	128.4	26.9	70.5	127.3	26.1	69.9
	4年生	9歳	133.2	29.7	72.2	※133.9	30.0	72.9
	5年生	10歳	139.1	33.4	75.1	140.6	33.9	※76.2
	6年生	11歳	144.8	37.8	77.5	※147.5	39.1	※79.7
中学校	1年生	12歳	152.1	43.1	81.0	152.0	42.9	82.2
	2年生	13歳	158.7	47.1	84.6	155.3	46.4	84.1
	3年生	14歳	165.1	53.7	88.0	157.0	49.0	85.1
高等学校	1年生	15歳	168.5	59.1	※90.7	157.7	51.0	85.7
	2年生	16歳	169.9	60.9	91.4	158.1	52.3	85.9
	3年生	17歳	171.2	62.9	92.3	158.4	52.7	※86.5

(注)「※」印は、記録が残っている昭和30年度以降における過去最高または同数値。

表 3 主な疾病・異常および全国平均値(男女計)

(単位:%)

学校種別	鼻・副鼻腔疾患			蛋白検出の者			ぜん息		
	平成23年度	平成22年度	平成23年度 (全国)	平成23年度	平成22年度	平成23年度 (全国)	平成23年度	平成22年度	平成23年度 (全国)
幼稚園	3.0	2.7	4.4	-	0.2	0.8	1.5	2.7	2.8
小学校	4.7	3.8	12.5	0.3	0.4	0.8	2.5	2.3	4.3
中学校	5.4	4.2	11.8	1.5	2.1	2.6	1.0	1.6	2.8
高等学校	0.8	1.1	8.8	2.4	2.3	2.9	1.2	1.5	1.9
学校種別	裸眼視力1.0未満			心電図異常			むし歯(う歯)		
	平成23年度	平成22年度	平成23年度 (全国)	平成23年度	平成22年度	平成23年度 (全国)	平成23年度	平成22年度	平成23年度 (全国)
幼稚園	21.9	X	25.5	44.6	43.1	43.0
小学校	27.4	26.9	29.9	4.2	3.1	2.5	60.3	59.2	57.2
中学校	X	44.0	51.6	4.5	4.8	3.4	47.2	50.0	48.3
高等学校	-	X	60.9	4.0	2.8	3.1	59.8	62.2	58.5

(注)「X」は、回答校(園)が少ないため、公表していません。

「-」は、該当者なしです。(「裸眼視力1.0未満」の高等学校は回答校なし。)

「…」は、調査対象外です。

*** 利用上の注意**

調査の対象

調査の範囲は、幼稚園、小学校、中学校および高等学校のうち、調査実施校(園)に指定された152校(園)に在籍する幼児(5歳児のみ)、児童および生徒を調査の対象者にしています。

なお、年齢は平成23年4月1日現在の満年齢です。